

# 「アグリテックを核とした農業とその関連産業の成長に向けた共同提言」

～学生コミュニティと地方経済団体が農業をテーマに共同で行う、**全国初の提言活動**～

2026年（令和8年）4月3日

学生コミュニティ「次世代BASE」

一般社団法人 東北経済連合会

東北経済連合会では、当地域の強みである農業について、アグリテックの一層の推進により産業としての持続性と付加価値を高め地域の活性化につなげるため、その担い手となり得る次世代層（大学生、専門学校生）を対象に、2025年10月25日に新潟県新潟市においてイベントを実施しました。

本イベントでは、**農業の課題・スマート化の現在を理解し、未来を考えるセミナー**、また、**多分野の学生が農業生産法人や異業種からの参入企業の若手社員と組み、「アグリテックによって農業を産業としてどう成長させるか」「農業を若者が就きたいと思える職業・産業にするためには」**をテーマに**グループワーク**等を開催し、異分野の知識を活かした学生のアイデア提案が数多く生まれました。

本提言は、この「AgriTech Lab」で得られた成果を基に、学生と東北経済連合会が共同で取りまとめたものです。農業分野において、学生と経済団体が共同で提言を行う取り組みは全国でも前例がないとされます。地域資源を最大限活用し、農業を「稼ぐ産業」にするためには、次世代層の参画と政府による制度的後押しが不可欠です。

当地域の基幹産業である農業が将来にわたり持続的に発展していくため、本内容が政策立案にあたって考慮いただけたら幸いです。



## 「AgriTech Lab」(アグリテック・ラボ) (2025年10月25日開催 @新潟県新潟市)

### イベント内容

- 「AgriTech Lab」総合アドバイザー 三輪泰史様(日本総研チーフスペシャリスト)による**セミナー**
- 異業種参入企業6社 × 学生 による**パネルディスカッション**
- 新潟クボタ様や農研機構様によるスマート機器の**展示・体験**
- 長井啓友様(アグリノート開発者) × 三輪泰史様 による**対談**
- 異業種参入企業 × 農業生産法人 × 学生 による**グループワーク(プレゼン・表彰)**
- 全国初の取組に対して、10社を超える**メディア取材**

東北・新潟一円から、農業・工学・情報通信・経営など多彩な専攻分野の**学生約60名**が参加

将来の食料生産に関心の高い学生によるグループワーク ⇒ **農業生産法人、異業種からの参入企業がメンター役としてリード**

6つのアイデア提言(産業活性化策、教育改革、新しい収入源の創出等)を基に、**学生・当会が共同で提言書とりまとめ**

### 『アグリテックを核とした農業とその関連産業の成長に向けた共同提言』概要

深刻化する農業の担い手不足・高齢化といった構造的課題に対し、アグリテックを核に農業を成長産業へ転換する道筋を示したもので、**次世代層の間で依然として農業が**

**「きつい・古い」産業として捉えられている現状**から脱却し、**次世代が魅力を感じる“ワクワクする産業”へ再定義する必要性**を示した

【提言のポイント】 学生コミュニティ、アグリテックを実践する生産者、異業種からの参入企業による議論を基に、**現場の声と若い世代の視点を融合**させた点

- ① SNSやエンターテインメントを活用した農業イメージの刷新を掲げ、デジタル農業を象徴とする新たな職業像へのアップデートを提示
- ② 義務教育から高等教育まで一貫した「農業×テクノロジー」体験や、現場でのリアルな学びを通じて次世代のキャリア観を育てる教育改革
- ③ 異業種や若者が参入しやすいコミュニティ基盤の構築や就農・定着ロードマップの整備
- ④ カーボンクレジットやデータ活用などによる新たなビジネスモデル創出

# 「AgriTech Lab」(アグリテック・ラボ) 協力機関一覧

(2025年10月25日 @新潟県新潟市)

【主催】東北経済連合会

【後援】東北農政局、北陸農政局、新潟県、新潟市、農業・食品産業技術総合研究機構、新潟大学、長岡技術科学大学、新潟国際情報大学、新潟薬科大学、新潟食料農業大学、新潟県商工会議所連合会、新潟県経営者協会、新潟経済同友会

【協力】<連携> **学生コミュニティ「次世代BASE」(新潟県新潟市)**

<協賛> Oisix(食品製造・小売業/東京)

<登壇・メンター ※異業種からの参入企業>

小野組(建設業/新潟県胎内市)、ナミックス(電子化学材料製造業/新潟県新潟市)、

新潟クボタ(農機具販売/新潟県新潟市)、JR東日本メカトロニクス(駅務機器製造業/東京)

NTTアグリテクノロジー(情報通信業/東京)、BASFジャパン(総合化学製造業/東京)、

<メンター ※農業生産法人>

戸頭農場(水稻他/新潟県新潟市)、白銀カルチャー(水稻他/新潟県新潟市)、

エンカレッジファーム(野菜・花苗/新潟県新潟市)、

おしの農場(水稻他/山形県天童市)、**井上農場(水稻他/山形県鶴岡市)**

## 共同提言活動(2026年4月3日)参加学生団体・生産者紹介

### 学生コミュニティ「次世代BASE」(新潟県新潟市)

新潟県内の大学生を中心に構成された、県内最大級の学生コミュニティ。現在、13大学・180名以上の学生が参加し、大学や学年、専攻の枠を越えたインカレ型のネットワークを形成。

学生一人ひとりの「やりたい!」という想いを起点に、地域・企業・行政と学生をつなぐハブとして機能している点が大きな特徴。

設立の目的は、学生の挑戦を形にし、地域社会に新たな価値と未来を創造すること。「学生の可能性をカタチに、学生の存在を地域の活力へ」というビジョンのもと、学生が主体となって企画・運営を行い、地域課題や企業ニーズに向き合う実践的な活動を展開している。



学生交流会



企業×学生座談会

### 井上農場(山形県鶴岡市)

水稻約69haで「つや姫」「雪若丸」をはじめとする多品種米を生産するほか、ハウス栽培では夏にトマト、冬に小松菜を手がけている。

「全国米・食味分析鑑定コンクール」(出展数約300点)において、2003年から5年連続で受賞し、全国3位・特別優秀賞を2度受賞するなど、高い評価を受けてきた。2011年には農林水産大臣賞および山形県ベストアグリ賞も受賞。

また、ドローンによる散布や圃場データ管理などスマート農業を積極的に導入し、国の認定を受けた先進的な生産モデル農場としても注目される。少人数で風通しの良いチーム体制のもと、商品開発やSNS発信にも力を入れ、農業の新たな価値創出に挑戦している。

